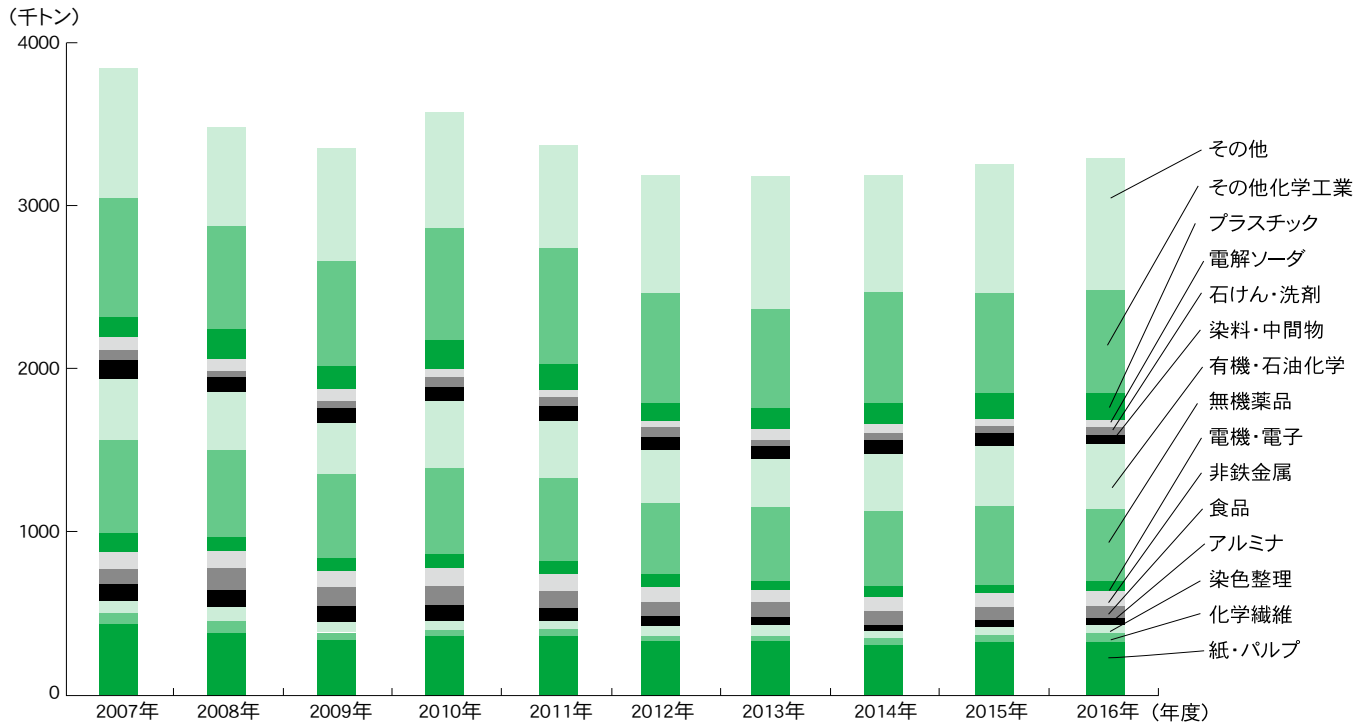


# カセイソーダの内需推移



(単位：千トン)

用途部門	年度	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
紙・パルプ		401	368	313	334	329	302	310	296	306	303
化学繊維		79	68	58	59	65	56	57	55	56	63
染色整理		92	75	66	65	59	48	48	46	46	47
アルミナ		101	97	73	67	66	51	31	26	23	22
食品		148	133	115	117	98	88	84	83	86	87
非鉄金属		121	116	102	106	103	92	84	81	88	88
電機・電子		110	95	89	94	81	74	71	70	66	66
医薬・農業*		42	65	61	68	61	57	58	54	51	51
鉄鋼*		53	49	47	45	43	41	44	44	46	46
上下水道*		60	57	55	53	48	45	45	48	43	48
無機薬品		552	539	503	530	506	461	451	446	452	439
有機・石油化学		401	349	326	408	370	324	292	361	381	396
染料・中間物		99	89	94	94	76	73	80	79	77	70
石けん・洗剤		71	64	54	53	48	44	43	43	44	47
電解ソーダ		89	72	68	68	64	58	57	54	53	50
プラスチック		167	150	149	159	151	126	132	144	157	149
その他化学工業		754	641	637	699	701	638	609	679	621	655
その他		509	438	518	545	520	599	668	576	634	667
合計		3,849	3,465	3,328	3,564	3,389	3,177	3,164	3,185	3,230	3,294

注1) 需要内訳は、輸入を含まない出荷実績による。

注2) グラフの「その他」には、上の表の\*「医薬・農業」「鉄鋼」「上下水道」が含まれる。

カセイソーダは、様々な分野で使用されている基礎素材製品であり、需要の裾野が非常に広いことが特徴の一つとなっています。

2016年度国産品の内需量3,294千トンの内訳を項目

別に見ると、有機・石油化学、化学繊維、上下水道、石けん・洗剤、その他化学工業、その他が増加しました。一方、無機薬品、プラスチック、染料・中間物などは減少しました。